

グラジオラス穂やけ症発生に関する品種間差異

[要約] グラジオラスの穂やけ発生には品種間差異が見られ、「ソフィー」、「フレボリブレ」、「シノン」、「インビテイト」、「ブルースカイ」、「ブルース」、「ゴールデンゲーム」、「ニューウエーブ」、「舞姫」は「トラベラ」と同等の強さを有し、「キャンベラ」、「花かすみ」、「マスカーニ」、「クローバーフィールド」、「ホワイトフレンドシップ」は弱い。

農業総合センター園芸研究所

成果区分

普及（情報）

1. 背景・ねらい

グラジオラスの穂やけ症は、切り花の商品性を著しく低下させるため現地で問題となっている。そこで、穂やけ症発生に対する品種間の差を明らかにし、品種選定の基礎資料とする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成16年は4月23日に定植し、7月10日～7月29日に開花したものについて穂やけ発生調査を行った。平成17年は5月18日に定植し、各品種の開花時（7月下旬～8月中旬）に穂やけ調査を行った。平成16年、17年とも穂やけが発生しやすい生育ステージ（花穂が葉から完全に出て開花するまでの期間）に、最高気温が概ね32℃以上の日が4日以上あり、穂やけの発生しやすい温度条件である。
- 2) 2カ年の共通品種の結果を比較すると結果は概ね一致しているので、生産現場で比較的穂やけに強いとされている「トラベラ」を基準品種として評価した。評価には穂やけ面積率を用いた。花穂の穂やけ割合が3割を超えると出荷しないという現地の状況から、穂やけ面積率が30%以上の品種を穂やけに弱いと判定した。
- 3) 「ソフィー」、「フレボリブレ」、「シノン」、「インビテイト」、「ブルースカイ」、「ブルース」、「ゴールデンゲーム」、「ニューウエーブ」、「舞姫」は「トラベラ」と同程度の穂やけ面積率である。
- 4) 「キャンベラ」、「花かすみ」、「マスカーニ」、「クローバーフィールド」、「ホワイトフレンドシップ」は穂やけ面積率が30%以上と高く、穂やけに弱い。
- 5) 以上から、グラジオラスの穂やけ発生には品種間差異が見られる。多少の年次変動はみられるが「ソフィー」、「フレボリブレ」、「シノン」、「インビテイト」、「ブルースカイ」、「ブルース」、「ゴールデンゲーム」、「ニューウエーブ」、「舞姫」は穂やけに対して「トラベラ」と同程度の強さを有する品種である。「キャンベラ」、「花かすみ」、「マスカーニ」、「クローバーフィールド」、「ホワイトフレンドシップ」は弱い品種である。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 穂やけしにくい品種の選定に活用できる。
- 2) 穂やけの発生は気温や日射量などの気象要因の影響を受ける。

4. 具体的データ

表1 穂やけ発生における品種間差違

品種名(花色)	穂やけ面積率	品種名(花色)	穂やけ面積率
ソフィー(白)	11.7	ニューオリンズ(赤紫白)	17.6
フレボリブレ(桃)	11.8	セマラング(鮭桃)	17.7
シノン(赤)	12.1	ゾロ(深紅)	18.9
インビテイト(桃赤)	12.2	グリーンスター(緑)	19.3
ブルースカイ(赤紫白)	12.3	フレボエクリプス(黄)	19.9
トラベラ(桃)	12.4	ボストーク(橙赤)	20.0
ブルース(紫白)	12.5	紫峰の朝(薄紫)	20.1
ゴールドデンゲーム(黄)	12.5	ローランドクイーン(桃赤)	21.1
ニューウエーブ(白)	12.5	チャチャ(黄)	24.2
舞姫(桃)	12.5	ブルーラグーン(紫)	25.3
グリーンアイル(緑黄)	13.1	アドバンス(赤)	25.9
トップシークレット(濃桃)	13.2	ハンティングソング(赤)	27.7
グランプリ(白)	13.4	ブルーアイル(紫)	29.2
イエローパール(黄)	13.4	キャンディーレッド(赤)	29.6
フィニシングタッチ(鮭桃)	13.9	ホワイトフレンドシップ(白)	32.4
ニューヨーク(桃)	14.2	クローバーフィールド(緑黄)	36.7
富士の雪(白)	14.6	マスカーニ(赤)	37.8
ジェスター(黄赤)	15.0	花かすみ(桃)	46.4
ジャクソンビルゴールド(黄)	16.5	キャンベラ(桃赤)	48.5
スリムローズ(赤)	16.7		

穂やけ面積率：花穂片面の穂やけ割合を指数化し（0：穂やけ 0%、1：0<～25%、2：26～50%、3：51～99%、4：100%）、各指数に指数 0 = 0、指数 1 = 12.5、指数 2 = 37.5、指数 3 = 75、指数 4 = 100 を乗じて求めた

■ は両年度の共通品種で穂やけ面積率は2カ年の平均値、斜字体は17年度のみ

5. 試験研究課題名・試験期間・担当研究室

グラジオラス穂やけ症の発生要因解明と予防法の開発・平成16～17年度・花き研究室